



〈アンリ・シャルパンティエ〉東日本大震災 復興支援Smile for TOHOKU -from ASHIYA- 〈スマイルフォー東北 -from 芦屋〉プロジェクト寄付金活用レポート

ご報告します！東北復興の、いま。

アンリ・シャルパンティエでは、阪神・淡路大震災で被災した際に、多くの方々に助けていただいた経験から、
"Smile for TOHOKU - from ASHIYA -" (スマイルフォー東北 -from 芦屋) プロジェクトを立ち上げ、お菓子を通じた東北支援を続けています。
2012年4月よりスタートした復興支援商品の寄付金により、製菓学校の奨学金制度をはじめ、
インターンシップ制度の導入を通じた支援などが実を結び始めました。

パティシエになる夢を持つ学生を支援 in 宮城調理製菓専門学校 「アンリ・シャルパンティエ奨学金」

パティシエを目指す若者の夢を応援したいという想いから、2015年4月より、上級製菓技術科・製菓衛生師科へ入学する学生を対象に、東日本大震災で被災した学生をサポートしています。

いよいよこの春から初年度にサポートした学生が卒業し、パティシエの卵としてはばたきました。
ちなみにそのうちの2名の奨学生がアンリ・シャルパンティエに仲間入りしました。

今後もお菓子で人を笑顔にする同志が増えていく事を期待し支援してまいります。



創設に伴う調印式の様子(左:宮城調理製菓専門学校、右:株式会社シュゼット)

世界で活躍する トップパティシエによる技術講習会

アンリ・シャルパンティエのテクニカルアドバイザーをつとめる、フランスのパティシエ クリストフ・フェルデール氏が来日し、学生を対象に講習会を実施しています。将来、活躍するパティシエの卵に世界の技術/味/感性を、デモンストレーションを通じて学んでもらいました。



インターンシップ制度を導入

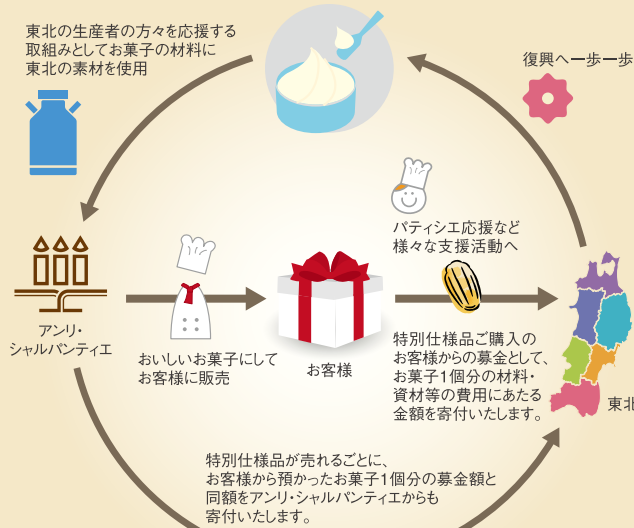
2018年から、アンリ・シャルパンティエのケーキ製造現場を体験してもらうインターンシップ制度を導入しました。実際に現場で勤務することで、お菓子で人を笑顔にする素晴らしさに触れてもらいます。



お菓子1個分からできる 東北支援の仕組みとは？

スマイルフォー東北
from 芦屋
プロジェクト

お菓子をあえて1個減らした品を、お客様にご了承いただいた上で通常価格にて販売し、その1個分の材料、資材等の費用にあたる金額を、ご購入のお客様からの募金としてお預かりいたします。そして募金総額と同額をアンリ・シャルパンティエからもお出しして、復興支援団体の活動資金や、被災された学生さんの夢を応援する奨学金としてご活用いただきます。



皆様のあたたかいご支援に、
深く感謝申し上げます。

これまでの
寄付金額

¥33,229,430

2012年4月～2018年12月累計

復興への道のりはまだまだ長く、息の長い支援が必要です。私たちはこれからも、被災された方々へお菓子を通じて笑顔をお届けできるよう、募金活動を続けて参ります。
今後とも皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

※この印刷物は東北で製造された紙を使っています。

SUZETTE

発行元/株式会社シュゼット
〒662-0927 兵庫県西宮市久保町5-16 ハーバースタジオ43南館
お問い合わせ先: 0120-917-215 (音声案内 9:00～17:00)
<http://www.suzette.co.jp>

